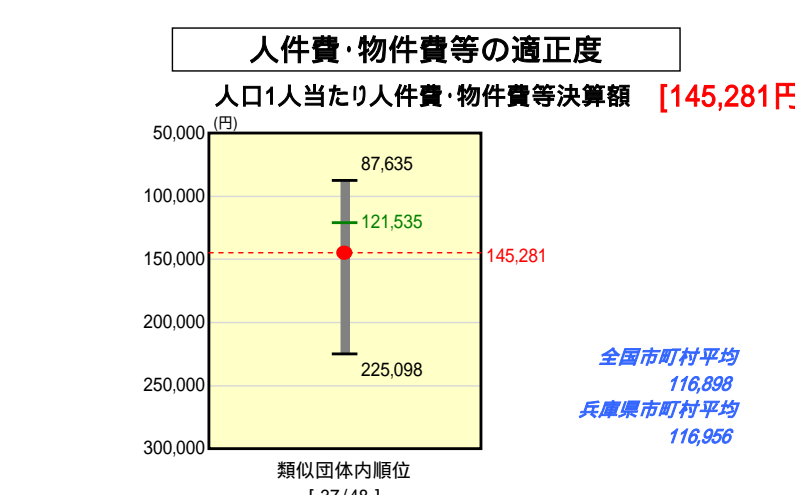
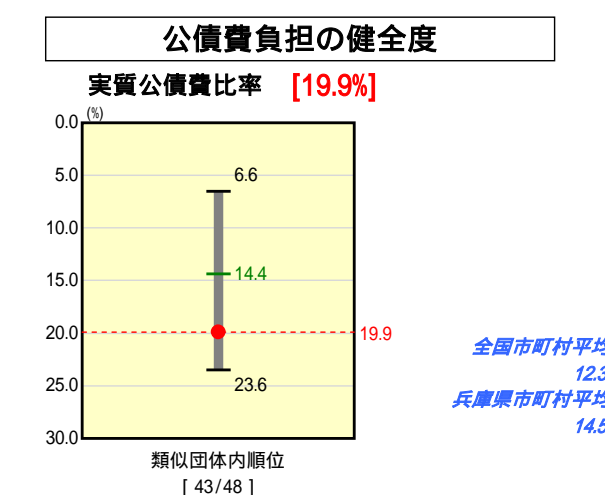
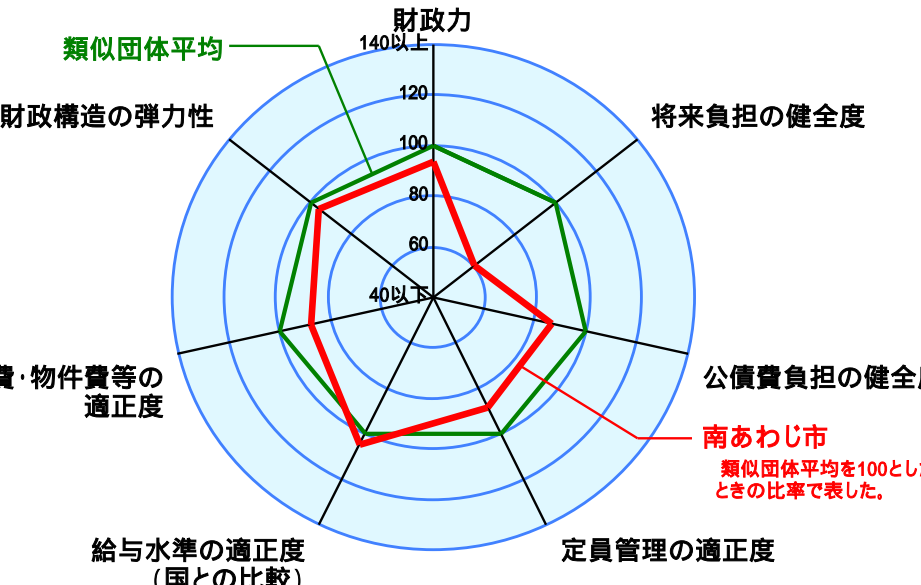
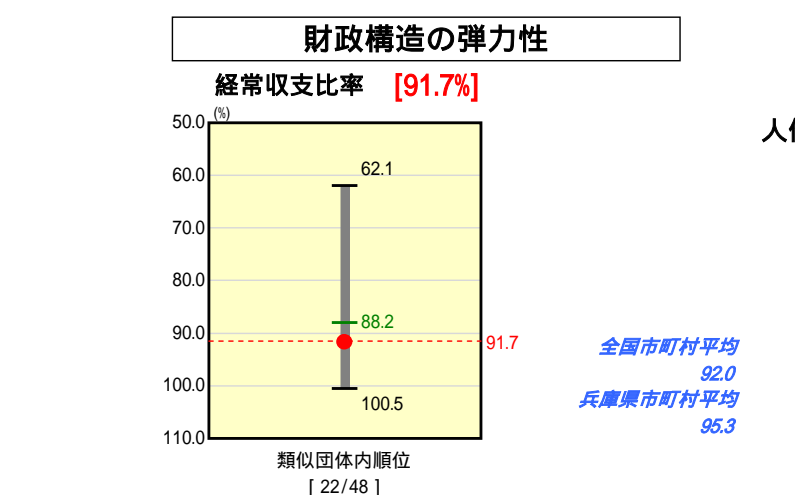
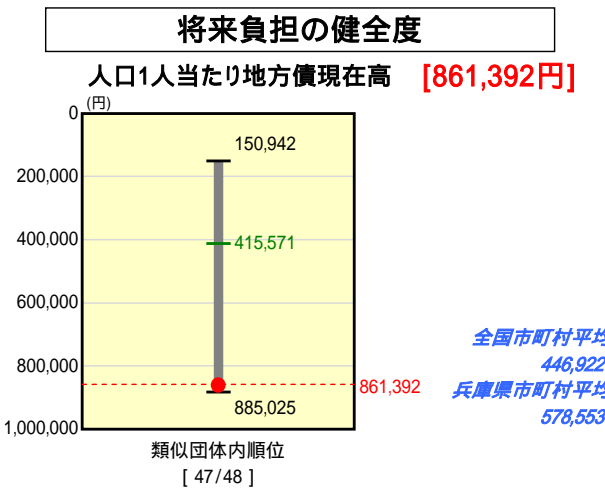
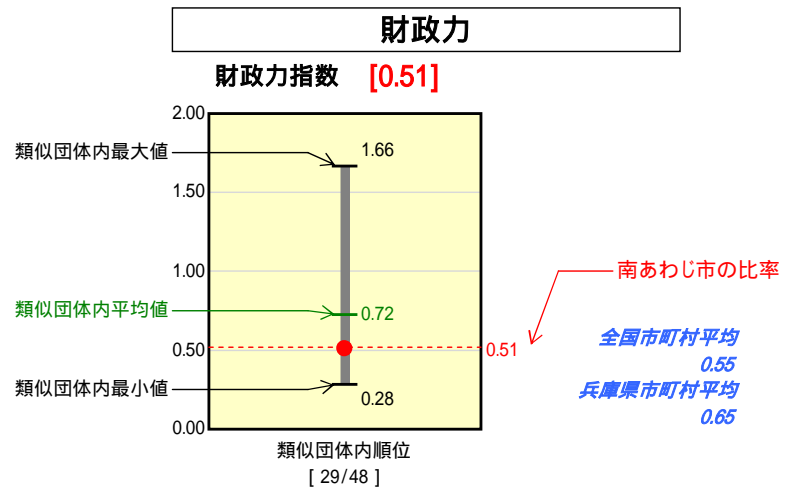


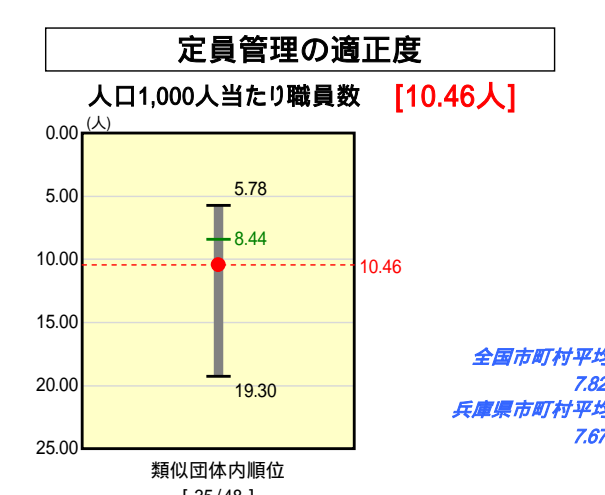
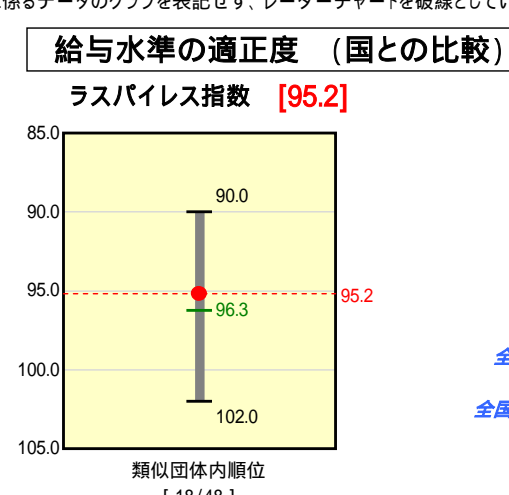
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

兵庫県 南あわじ市

人口	52,949	人(H20.3.31現在)
面積	229.18	km ²
歳入総額	26,924,081	千円
歳出総額	26,442,102	千円
実質収支	449,177	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



分析欄

財政力指数
ここ数年、数値はほぼ横ばいで、類似団体平均と比較して低い状況にある。長引く景気低迷や少子高齢化、また都会への人口流出など種々の要因を考慮すると、今後しばらく税収の増加は期待できない。このため、「集中改革プラン」・「財政健全化計画」に基づき、定員管理・給与の適正化、補助金の整理統合、内部管理経費の見直し等による歳出削減を徹底するとともに、地方税の徴収強化、使用料・手数料の見直し等により歳入確保に努める。

経常収支比率
扶助費及び繰入金等の増加、地方交付税の減収等により、前年度より3.9%悪化し、類似団体平均と比較しても悪い状況にある。今後も「集中改革プラン」・「財政健全化計画」に基づく義務的経費の削減、特に起債の抑制や繰上償還による公債費の軽減に努める。また、今後増大する恐れのある下水道事業繰上償還については、建設事業費の抑制、使用料等の見直し及び施設管理経費の削減等により健全経営に努め、負担軽減に取り組む。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
合併に伴い旧町の施設を多く抱え、施設の維持管理経費が高んでいること等により、類似団体平均より悪い水準にある。しかし、指定管理者制度の拡大や、行政評価により事業の取捨選択を行うことなどにより、経費削減の効果も少しずつ表れており、前年度と比べ1,069円の改善が見られた。今後もより一層の経常経費の削減に努める。

人口1人当たり地方債現在高
合併前から生活基盤整備のために発行してきた多額の地方債が市財政を圧迫しており、類似団体平均と比較して非常に悪い水準にある。「財政健全化計画」に基づき、新たな起債を最小限に抑制し、繰上償還を計画的に実施することで地方債残高の減少を図り、後世代への負担軽減に努める。

実質公債費比率
下水道事業など過去の大型事業による地方債の元利償還金が増加傾向にあり、類似団体平均と比較して悪い状況にある。公債費は平成21～22年度をピークに平成26年度までは高い水準で推移すると見込まれるが、「財政健全化計画」に基づく起債の抑制及び繰上償還の実施により、平成25年度には比率が18.0%未満となるよう取り組む。

人口1,000人当たり職員数
「定員適正化計画」に基づき、新規採用者を退職者の1/2に抑制することにより、毎年、職員数は減少しているが、類似団体平均と比較して2.02人多い。今後もより一層の定員管理に努める。

ラスパイレス指数
給料表及び管理職手当・地域手当の見直し、58歳昇級停止等の取り組みにより、類似団体平均と比較して良い状況にある。今後も時間外勤務手当の縮減を図るなど、一層の給与適正化に努める。